

学校だより
平成29年
1月27日号

はるにれ

海老名市立
有馬小学校
校長 宮原謙二

本年もよろしくお願いたします

2017年酉年がスタートしました。ありまっ子も気持ちも新たに、元気に登校してきました。

「果実が極限まで熟した状態」から、「物事が頂点まで極まった状態」が酉年だと言われています。つまり、習い事で結果が得られたり、学問で成果が得られる年だということです。

子どもたちは、4月から1つ学年が上がります。3月までの目標をしっかりと持ち、3学期の3か月間を有意義に過ごしてほしいと願っています。特に生活面では、互いに相手の気持ちを考え、ありまっ子全員が「今日も一日楽しかった。明日も学校に行きたい。」と思える学校にしたいと思います。日々、いろいろなことが起こりますが、一つ一つを見逃さず真摯に対応していきたいと思ひます。保護者や地域の皆様のお力添えを、どうぞよろしくお願いたします。



初春の思いを込めて「書き初め」



1月2日に書き初めをするのが正式な作法になります。この日は、仕事始めとされており、農家では作り始め、商家では初荷を出していた

そうです。この仕事始めのしきたりに習って、文字を書いたり絵を描いたりする「書き初め」が始まりました。

もともとは、宮中や文人の偉い人が行っていました。江戸時代に入り、寺子屋で勉強をすることが必修とされて、一般にも「書き初め」が広まってきました。

今年も、ありまっ子は紙いっぱい伸び伸びとした字を書くことができました。この時の気持ちを大切に、今年1年を有意義に過ごしてほしいと願っています。



冬場の体力づくり「なわとび」



2学期の持久走タイムの取り組みに続いて、3学期の体力づくり「なわとび」に取り組んでいます。

写真は、運動委員会のメンバーが、朝会で跳び方の手本を見せてくれているところです。

難しい技を軽々とこなす上級生の演技に、「わーっ！」という歓声がおこりました。毎日、なわとびに挑戦している子どもたちが汗を流しています。

元気な声がかたまる「あいさつ運動」

学年ごとに計画を立て、朝、あいさつ運動を行っています。下の写真は、2年生が元気にあいさつをしているところです。

自分からあいさつをすることで、された人の気持ちがわかります。互いに心を開くさわやかなあいさつができる子に育てていきたいと思ひます。



行事予定

1月	31日(火)	新入学児童保護者説明会
2月	7日(火)	ダンスクラブ発表
	10日(金)	有馬中体験入学
	13日(月)	音楽朝会 授業参観・懇談会(5. 6
	15日(水)	年ひまわり級)
	17日(金)	授業参観・懇談会(3. 4年)
	24日(金)	授業参観・懇談会(1, 2年) 小中連携授業参観



「寒い中、校舎の北側に咲いた狼狽の花」

有中学区小中一貫教育 3

“よりよい授業をめざして（授業改善）”



左の写真は、6年生の理科の授業を、有馬中学校の野口先生が教えてくださっているところです。理科について、専門の知識と経験を持っているので、子どもたちは、授業に引きつけられていきます。

「次の理科の授業が、すごい楽しみ。」や、「今日の理科の勉強は、とてもおもしろかった。」という声が、子どもたちの中から自然と聞こえてきます。理科・科学離れが問題になっていますが、有馬小の6年生は、どんどん理科が好きになっています。野口先生の人柄も魅力の一つです。運動会には、子ども達のが

んばりを見に、テントの中に入って応援してくださいました。

算数は、有馬中学校の浜田先生が、週に1時間教えてくださいます。わかりやすく、おもしろい授業に子どもたちは、引きこまれていきます。中学校の先生の指導は、子どもたちにとってはとても新鮮であり、魅力的な授業になっています。

来年、中学校に進学した時に中学校で先生に再会し教えてもらえることは、中1ギャップを乗り越える大きな力になると思われます。

“サイバー教室、携帯・スマホ教室”

インターネットを巡るトラブルが心配される中、12月9日(金)に、サイバー教室(6年)・携帯スマホ教室(4年)を開催しました。



サイバー教室はKDDIから専門の講師を、携帯スマホ教室は、警察署から講師に来ていただき、その危険性や使い方について詳しく教えてもらいました。1月15日(水)には授業参観・懇談会で、3年生が携帯電話のマナーと危険性について、保護者の方と一緒に話を聞きます。子どもたちをその危険から守ることができればと思います。



“新運営委員のあいさつ”

「あいさつがもっとできる有馬小学校にしたいと思います。」

1月23日(月)の朝会で、来年度の新運営委員の所信表明のあいさつがありました。

一人一人がしっかりと自分の抱負を発表することができていました。現6年生が卒業した後、自分たちが学校を引っ張っていかなくてはいけないという気持ちが、言葉の中に表れていました。

今年度中に引き継ぎをしながら、4月から新しいメンバーでの船出になります。きっと良い活動ができると思います。

